



かけはし

平成30年2月26日
さいたま市立三室小学校
在籍児童数
男子 462名、女子 428名
合計 890名



学校教育目標 かしこく（確かな学力）やさしく（豊かな心）たくましく（健康と体力）

学 校 評 価 特 別 号

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。集計が終わり1月30日（火）に学校評議員会・学校関係者評価委員会を実施いたしました。教職員の自己評価の分析と児童、保護者の集計結果及び評価委員会でいただいたご意見をまとめましたので報告いたします。学校経営方針の1～6に沿ってまとめてあります。【A:できている B:大体できている C:あまりできていない D:できていない】

1 組織的、機動的な指導体制を確立し、教職員の能力を伸ばし、児童の豊かな人間性を育む。

- ・18項目にわたる質問における教職員の自己評価では、A評価 43%、B評価 55%、C評価 2%で全体的に評価が高く、ほとんどの教員は意識を高く持ち教育活動に取り組んだ。
- ・体罰の禁止、信用失墜行為の禁止、守秘義務などの厳守事項の項目についてはA評価71%、B評価29%と意識が高く、服務関係の項目はどれも高評価であった。
- ・各学年や校務分掌での教育活動については、教職員の団結力などの項目で高評価であり、チームで取り組んでいる意識は高い。
- ・児童アンケートNO.1「授業はわかりやすいですか」の項目ではA62%、B32%で、保護者のNO.1「学校は子どものよさを見つけ伸ばそうとしている」ではA25%、B65%であった。

2 「生きる力」を育む教育課程の編成、実施及び改善・充実を図り児童の能力を伸ばす。

- ・14項目の質問における教職員の自己評価では、A評価 23%、B評価 74%、C評価3%であった。新年度から、G・Sの授業時数が増え日課表を変更するので更に意識を高める。
- ・校内研修組織の確立、実施の評価は高く、A評価 60%、B評価が38%であった。
- ・児童は、学校の学習指導に関してほぼ満足しているという結果だが、更に教員の研修を充実する。
- ・保護者もAB評価を合わせると95%と高評価であった（NO.2～6）。

3 いじめ・不登校ゼロを目指し、積極的かつ繊細な教育相談活動及び生徒指導を展開する。

- ・教職員の7項目の自己評価では、A評価 30%、B評価 63%、C評価7%でB評価が多くC評価も7%あった。今後も保護者、地域の方々との連携を密にして、指導に取り組んでいく。
- ・児童は、学校生活で友人と仲良く生活でき、困ったときの教員の対応に大体満足している。
- ・あいさつについては、児童の89%は大体出来ているという意識であったが、保護者の評価はAB合わせて82%であった。今後も指導を続けていきたい（NO.12）。

4 体力向上推進委員会を中心とした体力アップ作戦で児童の体力前年比5%アップを目指す。

- ・教職員の7項目の自己評価では、A評価 33%、B評価 66%、C評価1%で比較的良好な結果であった。秋から冬の取組によって、鉄棒の逆上がりについては春の測定時と比べて5.10%アップし、投力については10.8%アップした。
- ・教職員の自己評価では、保健室の保健センターとしての役割、保健指導、保健学習の充実の項目はAB評価で100%であった。今後も、継続をさせていきたい。
- ・児童のNO.14「規則正しい生活」16「好き嫌がなく、なんでも食べる」では課題が見える。
- ・保護者は学校の保健指導、給食指導に関してはAB評価が98%と大体満足との結果であった。

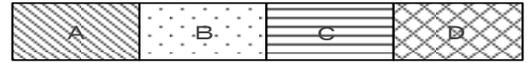
5 安心、安全な「学びの場」としての施設、設備、環境の充実と自己防衛力の育成を図る。

- ・教職員の10項目の自己評価では、A評価 29%、B評価 69%、C評価2%で比較的良好な結果であった。今後も施設、設備の整備を充実させ事故防止と安全意識を高揚させていく。
- ・児童のアンケートでは、施設、設備を大切に使用しているとの意識が高い。また、登下校の安全に対する意識も高かったが、更に意識を高める指導をしていく（NO.18、21）。

6 地域とともに歩み、スクールサポートネットワークを更に充実させ地域に開かれた学校を目指す。

- ・教職員の8項目の自己評価では、A評価 32%、B評価 67%、C評価1%で比較的良好な結果であった。今後も地域と共に子どもたちを育てていくという意識を常に忘れず取り組んでいく。
- ・保護者の評価で、CD評価があったので、更に保護者の声に耳を傾け、学校公開や家庭との連携を充実させていく（NO.23～27）。
- ・教育相談については、今後も計画的・継続的に進め、充実させ児童の健全な育成を図っていく。

平成29年度 学校評価アンケート(保護者・児童二者の対象)集計結果



A:できている B:大体できている
C:あまりできていない D:できていない

NO.	指標と評価		グラフ(*数字%)	
1	保護者	学校は、子どものよさを見つけ、伸ばそうとしている	保護者	25 65 9 1
	児童	授業は分かりやすいですか	児童	62 32 5 1
2	保護者	学校では、計画的・継続的に授業が進められている	保護者	34 63 2
	児童	(設問なし)	児童	
3	保護者	学校では、各教科等の基礎・基本に重点を置き、学習指導等の充実に努めている	保護者	32 64 3
	児童	あなたは、家で進んで勉強や宿題をしていますか	児童	49 33 14 4
4	保護者	運動会・校外学習等の行事で、子どもが目的をもって参加できるように工夫されている	保護者	44 52 5
	児童	あなたは、学習や活動にめあてをもって取り組んでいますか	児童	46 38 13 4
5	保護者	学校では、子どもたちが分かりやすいように工夫して学習指導を行っている	保護者	35 58 6 1
	児童	先生は、教え方をいろいろ工夫していますか	児童	73 21 4
6	保護者	学校では、情報教育をはじめとして人権教育、環境教育、国際教育、福祉教育、人間関係プログラム、グローバルスタディ科、ボランティア等の新しい教育課題について、学ぶ機会を設けている	保護者	31 61 8
	児童	(設問なし)	児童	
7	保護者	子どもは、友だちと仲よく生活している	保護者	50 47 3
	児童	あなたは、遊んだり、お話ししたりできる仲のよい友達がいいますか	児童	90 7 1
8	保護者	集団生活に必要なルールやマナーを守ろうとする態度が育っている	保護者	35 59 5 1
	児童	あなたは、三室小のやくそくを守って生活していますか	児童	54 39 5 2
9	保護者	(設問なし)	保護者	
	児童	あなたは、思いやりのことを大切にしていますか	児童	67 28 4 2

10	保護者	学校は、子どもの悩みやトラブル等について、適切に対応している	保護者		4
	児童	先生は、正しい行動にはほめ、間違った行動には、厳しく指導してくれますか	児童		
11	保護者	(設問なし)	保護者		2
	児童	先生は、困ったり悩んだりしたときに話を聞いてくれますか	児童		
12	保護者	児童は「おはよう」「ありがとう」などのあいさつができる子どもに育っている	保護者		2
	児童	気持ちのよいあいさつをしていますか	児童		
13	保護者	(設問なし)	保護者		6
	児童	あなたは、外遊びで体を思いきり動かしていますか	児童		
14	保護者	(設問なし)	保護者		4
	児童	あなたは、規則正しい生活をしていますか	児童		
15	保護者	学校は、保健の指導を適切に行い、子どもたちの健康の保持・増進に努めている	保護者		3
	児童	(設問なし)	児童		
16	保護者	学校は、給食の指導を適切に行い、子どもたちの食育に努めている	保護者		4
	児童	あなたは好き嫌いなく、なんでも食べていますか	児童		
17	保護者	学校は、施設・設備を有効に活用している	保護者		7
	児童	(設問なし)	児童		
18	保護者	学校は学習環境を整え、美しい環境づくりに取り組んでいる	保護者		1
	児童	あなたは学校の施設・設備を大切に使っていますか	児童		
19	保護者	児童は掃除や給食の時間などに協力しあい、進んで活動する子どもに育っている	保護者		1
	児童	あなたは、係の仕事や当番の仕事に進んで取り組んでいますか	児童		
20	保護者	学校は児童の事故防止に努め、施設・設備の安全に配慮している	保護者		1
	児童	(設問なし)	児童		

21	保護者	学校は、安全についての指導を行っている	保護者		2
	児童	あなたは、登下校の安全に気をつけていますか	児童		
22	保護者	教室や特別教室の整理整頓がなされ、有効に活用されている	保護者		3
	児童	(設問なし)	児童		
23	保護者	保護者は、学校教育に積極的に関わろうとしている(授業参観・懇談会・PTA活動他)	保護者		1
	児童	(設問なし)	児童		
24	保護者	学校は、家庭との連絡・連携を適切に行っている	保護者		1
	児童	(設問なし)	児童		
25	保護者	保護者や地域の方々に学校をよく知っていただくために、学校公開や授業参観、学校行事等が適切に行われている	保護者		1
	児童	(設問なし)	児童		
26	保護者	個人面談、さわやか相談等を通じて家庭と学校の連携が図られている	保護者		0
	児童	学校は楽しいですか	児童		
27	保護者	学校は、保護者や地域の願いや要望に応えようとしている	保護者		1
	児童	(設問なし)	児童		

学校関係者評価委員会での主なご意見等

- ・児童対象のアンケートで「授業がわかりやすいか」の設問にA B評価が94%ということは素晴らしい、日本一の教育都市を目指しているさいたま市の教育の成果だと思う。一方で教員の負担が増えているのではないかと。教員の「働き方改革」はどのようになっているのか。⇒さいたま市教育委員会としても平成30年度から予算計上をして進めていく考えである。学校としても、授業時間数が増えたが、会議等の時間を短縮するなど、教員の負担軽減を図るように努力していく。
- ・「食」は大切で生きるための活力である。「好き嫌いなく、なんでも食べていますか」という質問に対して、C D評価を合わせると26%もいる。学校ではどのような指導をしているのか。⇒食べず嫌いにならないよう促し、給食の献立にも様々なメニューを盛り込んでいる。
- ・「あいさつ」については、児童の意識は高く90%の児童が「気持ちよくあいさつをしている」と回答しているが、保護者は「できている」と回答したのは27%である。児童は、家の中ではあいさつはしていないかもしれないが、地域や学校では良くしている。
- ・グローバル・スタディの時間数が増えたり、プログラミングの授業が入ってきたりして、教員が児童の話をゆっくり聞く時間が取れなくなっているのではないかと。PTAでも活動のスリム化を考えている。PTAとしても、学校に協力できることがあれば、協力していきたいと考えている。